



# 人の輪と集落の和

平成16年度事業報告書 平成17年度事業計画書



## 目 次

ごあいさつ	1
第6回通常総会次第	2
第6回通常総会提出議案	3
平成16年度事業報告書	
部門別事業報告	4 ~ 13
貸借対照表	14
損益計算書	15 ~ 17
平成16年度剰余金処分案	18
付属明細書	19 ~ 20
監査報告書	21
第三次3ヵ年事業計画（平成17年度～平成19年度）	
理念・基本方針	22
部門別方針・計画	23 ~ 28
平成17年度事業計画明細書	29
財務計画・損益計画	30
組織図	31
組合員名簿	32

## 組合員のみなさまへ

本日ここに第6回の通常総会を開催するにあたり一言ごあいさつを申し上げます。平素は、組合員の皆様はもとより関係各位の多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます次第です。

総務部の集計では、平成16年度に視察や調査にお越しいただきました団体が46団体918名と過去最高を記録し、過去累計でも100団体2,000名を突破致しました。集落営農のモデルとして注目されることは、大変有難いことであり、喜ばしくも思います。しかし、錯覚してはいけません。これは、農水省が認定農業者だけでなく、集落営農も担い手と位置付けようとしているから注目されるだけであって、決して“成功事例”ではないことを肝に銘じなければなりません。

JAグループ家の光協会発刊の「地上」1月号には、大分県の(有)北崎農園が実践されている「農家が値段をつける農業」が紹介されています。ここで北崎社長の取り組みをご披露致します。「儲かる」から「儲ける」へ発想を転換し、「できた」ものではなく、「作った」ものを売る。植物の生理生態を研究し、過去のデータを蓄積し、納期を約束する。「作るプロ」としては当然のことです。そのために、秒単位の原価計算、工程管理意識の徹底、定時・定量・定質出荷など様々な工夫がされています。また販路も、身の丈にあわせて優位にたてる市場へ出荷し、無理な背伸びをせず着実に業績をあげておられます。

わが組合は、大型機械、格納庫、乾燥調整施設等のハード事業がほぼ完了したものの、財務やシステムではまだまだ見劣りします。今期からの3カ年は、組合員の英知を結集し、ブランド農作物、生産収穫システム、販売先、安定した強固な組織を、いずれも意識的に「つくる」時期であります。これまでは、敷かれたレールを流れるだけでよかったが、これからは自らレールを敷き、自ら走るという「自立型農業」を目指します。

戦後60年、日本農業も「還暦」を迎え、大転換をしようとしています。経験則を踏襲してきた過去と決別(リセット)し、今一度やり方を見直し、当地にあったアグリビジネスを創造していきます。

リスクにも果敢に挑戦し、理事一同精進を積み、集落の繁栄と安全安心の食糧供給に邁進する所存でございます。

平成17年2月27日

## 人は、人の為に成らずして、人にあらず

農事組合法人 酒人ふぁ～む

代表理事

谷口 榮治

## 第6回通常総会次第

と き：平成17年2月27日(日)

午後1時30分より

ところ：酒人公民館 2階大広間

1. 開会のことば
2. 代表理事あいさつ
3. 来賓ご祝辞

( 休 憩 )

4. 総会成立宣言
5. 議長の選任
6. 書記の指名
7. 議事
8. 閉会のことば

議長氏名	
------	--

議事録署名人	議長および出席理事
--------	-----------

組合員数	56人	出席人数	人
------	-----	------	---

## 第6回通常総会提出議案

### 第1号議案 平成16年度事業報告について

平成16年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、  
剰余金処分案及び附属明細書の承認について

P 4 ~ P 2 1

### 第2号議案 第三次3ヵ年事業計画

(平成17年度~平成19年度)

および平成17年度事業計画の承認について

P 2 2 ~ P 2 9

### 附帯決議

この総会において決議した事項のうち、行政庁に提出する書類で補正・変更を必要とする場合は、その趣旨に反しない範囲内において、その変更を理事会に一任する。

以上のとおり上程いたします。

平成17年2月27日

農事組合法人 酒人ふぁ～む  
代表理事 谷口 榮治

# 平成16年度事業報告書

## 部門別事業報告

### 営農部

#### [米・麦・大豆]

平成16年度は、第2次3ヵ年計画の最終年度にあたり、企業センスで儲ける農業の実践、アジのある農業の展開、耕畜連携強化による力あふれる土壌づくりを重点方針に挙げ、旧水口町水田農業ビジョンに呼応した生産調整を行い、水稲は環境こだわり農産物として栽培、麦・大豆においては品質向上と収量アップに取り組みました。

作物別に報告いたしますと、水稲につきましては7品種の栽培とし、本年からは更に麦あと一部水稲を栽培するなど、それぞれの特性に応じた作付体系を組み、こだわり農産物としての品質向上に努めました。日常管理を頂くすこやか営農グループの皆様方には、環境にやさしい米づくりとして細心の注意を賜りましたこと、感謝申し上げます。ただ、ままにならないのが昨今の気象異変による栽培管理の困難なところです。収量面においては、減農薬、減化学肥料によるこだわり栽培にて、反収は若干昨年を下回ることとなりましたが、食味においては申し分なく100%有機米として自信をもって販売していける「酒人米」に仕上がっております。

作業面におきましては、役員オペレーターとも農機の習熟度も向上し、天候不順の中にも無難に進めることができました。さらに、乾燥調整については、計画的収穫作業により当ライスセンターにおいて総量一等米処理をいたしました。課題は、中米対策も含め、歩留り率の向上による総合的付加価値のアップです。

麦・大豆につきましては、水田プラウやサブソイラーによる排水対策、土壌づくりを行いました結果、異常気象による品質の低下を防ぐことができました。収量は計画を下回ったものの品質は一等麦とすることができました。大豆においては、昨年につづき一部(4.5ha)を種子の採取圃に取り組み、「種子」としての品質はもちろんのこと、収量においても少しではありますが昨年を上回ることができ収益アップが図れました。

次年度は、更に今まで培ってきた技術、経験を生かし磐石の体制で臨む決意であります。

収量等成績の結果につきましては、別表の通りです。



## (別表) 16年産穀類生産実績

## [水稻]

品 種	作付面積		生産量		反収(俵/反)		中米	屑米	合計	
	m <sup>2</sup>	反	kg	俵(60kg)	16年産	15年産	俵/10a	俵/10a	俵/10a	
コシヒカリ	25,034	25.0反	10,115	168.6	6.73	7.04	0.34	0.63	0.97	
キヌヒカリ	14,285	14.3反	7,009	116.8	8.18	7.38	0.25	0.24	0.49	
日 本 晴	5/8植	41,865	41.9反	21,930	365.5	8.73	-	0.35	0.26	0.61
	6/19植	17,973	17.9反	9,270	154.5	8.60	-	0.25	0.24	0.49
	計	59,838	59.8反	31,200	520.0	8.69	8.91	0.32	0.25	0.57
ヒノヒカリ	17,604	17.6反	8,627	143.8	8.17	8.37	0.54	0.83	1.37	
ゆめおうみ	33,807	33.8反	19,703	328.4	9.71	10.06	0.33	0.26	0.59	
滋系65号 「レーク65」	9,994	10.0反	4,390	73.2	7.32	-	0.15	0.08	0.23	
うるち 計	160,562	160.6反	81,044	1350.7	8.41	8.62	0.33	0.37	0.70	
羽二重もち	41,439	41.4反	20,941	349.0	8.42	8.42	0.20	0.14	0.34	
合 計	202,001	202.0反	101,985	1699.8	8.41	8.59	0.30	0.32	0.62	

## [小麦]

品 種	作付面積		生産量		反収(俵/反)		
	m <sup>2</sup>	反	kg	俵(60kg)	16年産	15年産	
農林61号	186,125	186.1反	1等	36,222	603.7	3.24	-
			2等	1,390	23.2	0.12	-
			合計	37,612	626.9	3.36	3.65

## [大豆]

品 種	作付面積		生産量		反収(俵/反)		
	m <sup>2</sup>	反	kg	俵(60kg)	16年産	15年産	
ふくゆたか	46,886	46.9反	種子	8,880	148.0	3.16	-
			一般	15,251	254.2	2.62	-
			合計	24,131	402.2	2.79	2.49



## 企画開発部

### [ 企画・広報 ]

集落営農のビジネスモデルとして各方面からの反響の多さに驚かされる一年でした。視察の対応や講師の派遣に追われましたが、「集落営農」が注目されているだけで、特産物の「酒人ブランド」が注目されているのでないことが今後の課題です。16年度に取り組みました内容は以下のとおりです。

#### 野菜づくりコンダクター制度

初代コンダクター：山田 亨 氏（すこやか副グループ長）

野菜栽培のプロとして、栽培管理はもちろん適期施肥、適期収穫の「目利き」を遺憾なく発揮され、高品質野菜の収穫量増加に貢献いただきました。

#### クリスマスイルミネーション

クリスマスの前後1ヶ月間事務所外壁フェンスに「ミニルミナリエ」がお目見え。殺風景な拠点施設にネオンサインが点滅し、名実ともにふぁ～むに“華”を添え、通行者の目を楽しませてくれました。



#### びわ湖放送で大々的に放映

11/23放送の「A滋賀特別番組「湖国トップ鼎談～「農」と「共生」の世紀づくり」で、県内取組事例のなかで「集落営農」が紹介されました。

農林水産副大臣で衆議院議員の岩永峯一氏、滋賀県知事の國松善次氏、JA滋賀中央会会長の廣瀬竹造氏の3名によるトップ座談会のなかで、インタビューを交えたVTRが放映されました。すこやか、なごやかの両グループには酒人産野菜の「安心安全」「おいしさ」をアピール頂きました。

#### 社団法人農山漁村文化協会の取材

12/10～12の3日間取材のため来村地域を元気にする農業法人先行事例集の中で「勤めが主体の若手に活躍の場を提供 集落みんなが年齢・体力に応じて参加の集落営農」と題して取り上げていただきました。

また、(株)全国農村映画協会の撮影収録も同時に行われ、近くビデオ制作も完了します。

「21世紀型地域営農挑戦シリーズ」として“一集落一農場から営農ビジョンの実践へ”が記録に刻まれます。





## [ 特産振興 ]

野菜生産に取り組み、試行錯誤をしながら6年が経過し、徐々にではありますが、市場や花野果市ではブランド「酒人ふぁ～む」が確たるものとなってまいりました。

下期より、磐石の管理体制をと、病虫害や肥培管理の知識を持ち、ほ場を見てまわり、防除や施肥、収穫などの適期作業の実施指示ができる人材の登用を行った結果、下記の実績を残すことができました。

### 16年産野菜栽培形態別販売実績

単位：円

露 地		ハ ウ ス	
品 目	販 売 高	品 目	販 売 高
白 菜	1,873,968	小 松 菜	1,797,910
キ ャ ベ ツ	57,326	ほ う れ ん 草	671,906
ブ ロ ッ コ リ ー	2,119,585	サ ニ ー レ タ ス	265,238
え び す 南 瓜	328,020	ト マ ト	137,370
え び す 南 瓜 苗	181,870	み ず 菜	358,396
		そ の 他 野 菜	4,200
		ジャンボニンニク	39,960
		黒大豆・普通大豆	53,100
白菜出荷調整金	2,214,000	水口地方卸売市場	276,036
小 計	6,774,769	小 計	3,604,116
合 計		合 計	10,378,885

### 16年産 野菜品目別・市場別販売実績

生産品目	大津京都市場出荷		花野果市JA直売所		水口地方卸売市場		えびす南瓜苗販売		出荷調整金	合計 販売高 (千円)
	数量 (箱)束	販売高 (千円)	数量 (束)	販売高 (千円)	数量 (個)	販売高 (千円)	数量 (本)	販売高 (千円)		
小松菜	16,669	1,462	3,258	336						1,798
ほうれん草	3,734	457	1,580	214						671
白 菜	1,684	1,865	50	9					2,214	4,088
キャベツ	98	55	28	2	全					57
ブロッコリー	1,241	1,992	1,042	127						2,119
サニーレタス	284	259	59	6	品 目					265
トマト	25	21	499	116						137
みず菜	4,521	287	764	71						358
えびす南瓜	403	328								328
ジャンボニンニク			143	40						40
その他野菜			28	4						4
黒大豆			83	32						32
大豆			59	21						21
水口地方卸売市場					1,181	276				276
南瓜苗							2,798	182		182
合 計	28,659	6,726	7,593	978	1,181	276	2,798	182	2,214	10,376

## 機械施設部

平成16年度は、「づくりの時期」の最終年度で、機械施設すなわち戦うために武器の調達、整備の総仕上げに取り組みました。

併せて、良い武器も使い方次第であることから、オペレーター育成につきましては、効率の良い農機稼動体制を築くため、営農部とともに若年オペレーターを中心に運転技術の指導を行い、誰もがどの機械でも操ることができるマシンオペレーター群の育成に努めました。

施設周辺環境対策については、日々研究と検討を行ない、法人経営上可能な範囲において、その対応と対策を図っていくとの理事会決定を受け、システム改善を実施してまいりました。今後も、酒人の農地で「農」を「業」、すなわち業（なりわい）として運営していくについて、避けて通ることのできない道と心得、年々の改善策を講ずる思いであります。

保守管理につきましては、乾燥調整棟に併設の洗機・整備コーナーを核に、JA農機課との十分な連携によって、機械の稼動効率を高めました。次年度からは、整備技術の習得により自賄い整備・修繕を行い、保守管理コストの低減に努めてまいります。

なお、酒人区の助成を受け、区民より求められておりました精米所を施設内に設置いたしましたので、ご利用よろしくようお願い申し上げます。

### 取得した農機具・施設・備品の主なもの

自賄い投資

(単位：千円)

取得資産名・規模・補助事業名等	取得額	圧縮額
コイン精米機（酒人区精米機勘定より補助）	500	350
同電気工事	89	
大豆搬送用コンテナ（送風装置付）	905	
乾燥調整施設の防塵用ブース	630	
合 計	2,124	350



## 総 務 部

平成 16 年度は、視察や取材の受入れに追われた年でした。そのため、“酒人ブランド”の確立にまで漕ぎ着けることはできませんでした。しかし、環境にこだわり、品質にこだわった取り組みは徐々にではありますが実りつつあります。

ただ、コストを考えるとまだまだ満足のものではありませんが、関係機関のご指導と我々のたゆまぬ努力により、近い将来、特産物（商品）で視察にお越しいただけるよう精進してまいります。

### 【主に取り組んだ内容】

来視者過去最高を記録～累計 100 団体 2,000 人突破！

来視	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度
先数	8	17	9	22	<b>46</b>
人数	247	403	267	408	<b>918</b>

これまでに延 102 団体、2,243 人もの方が来視されました。



集落営農酒人ふぁ～むの P R ～知名度は全国版！

研修講師依頼が殺到し、年間 21 件の事例発表を行ない、集落の知名度アップを図ることができました。

### 【広報取材】

メディア	時 期	内 容
日本農業新聞	16. 7.22	「環境米」広がる～集落で栽培・管理統一
〃	16.11.26	論説：滋賀県の集落営農～多様な担い手を実証
〃	16.12.15	集落営農支援ビデオを収録
〃	16.12.15	師走の夜にぬくもり～イリュミネーション
滋賀県農業会議	2 月	農を語るおうみネットワーク 22 号
近畿農政局	4 月	近畿の食・農・むら
現代農業	2004.4	山形大学農学部楠本雅弘教授が事例紹介

## 勤務体制の平準化

オペレーター班長作成の「オペレーター出勤計画表」で、必要最低人数が確保でき、役員が補完出役することで比較的効率よく作業ができました。

また、“平日組オペレーター”が、天候による作業の遅れをカバーしていただき大変助けられました。

## (社)日本農業法人協会加入

会員相互の交流で情報交換ができる。補助事業等最新の情報が入手できる。行政・関係機関へ提言・提案できる。対外信用力の後ろ盾となる。等のメリットを活かし、業務運営いたします。

## 柏木小学校5年生による「調べ学習」で取材のお手伝い

将来の担い手である子供たちにも関心あるテーマで、小学校体育館に展示・発表されました。以下、発表の抜粋・・・

(問)米作りの工夫は？

(答)今までは沢山獲って沢山売る米作り。これからは、おいしい米でないと売れない。牛の排泄物を腐らして田んぼに撒く。化学肥料を減らして質のよいおいしい米を作る。

(問)これからの米作りは？

(答)費用をできるだけ減らす。外国の米に勝つためにも経費を下げる。高く売れるよい米を作る。

地域の子供たちに、恥じることがないように品質にこだわっていきます。



グリーンの植物は“自然”“収穫物”を表し、オレンジのふぁ～むの文字は“人”“組織”“集落”“大地”を表します。すなわち、

「人と自然の共生」

「安全安心な食糧供給の使命」

「人の輪と集落の和」

をテーマとしています。

【平成16年度来視状況】

月 日	来 視 先	内 容	人 数
2 / 1 8	美浜町営農改革検討委員会	農事組合法人設立経緯と運営	1 0
2 / 2 7	伊賀町土地改良区	先進地視察	4 0
3 / 1 1	宮崎県西諸県農林振興局	集団転作、関係機関取組、米政策	1 0
3 / 1 1	有機物循環農法研究会北陸東海支部	るシオール、共同ファームも視察	3 1
3 / 1 4	奈良県大柳生土地改良区	営農組合の概要	3 6
3 / 2 0	安土町永町農業生産組合	先進地視察	3 0
3 / 2 1	多賀町木曾集落営農組合	環境こだわり農業	1 5
3 / 2 2	岩手県花泉町高倉良質米生産組合	先進地視察	3
3 / 2 7	近江八幡市東町集落営農組合	先進地視察	1 0
3 / 2 8	三重県いなべ市山口農家組合	先進地視察	3 5
4 / 1 8	天理市南松垣営農組合	先進地視察	2 2
5 / 6	滋賀県立大学富田教授	学術事例調査	1
5 / 1 9	三重県川越町農業委員会	先進地視察	1 7
6 / 1 1	近畿農政局	滋賀県営農組織調査	3
6 / 1 8	岡山県美星町農業委員会	先進地視察	2 1
6 / 1 9	京都府峰山町品田営農組合	先進地視察	1 1
6 / 2 2	石川県富来町農林振興会	先進地視察	2 5
6 / 2 4	東京農工大学大学院矢口教授	農政調査研究	2
7 / 1	福井県農政連金津分会	先進地視察	1 9
7 / 4	福井市鶉地区の農業を考える会	先進地視察	3 8
8 / 1	福井県(農)グリーンファーム角屋	先進地視察	1 7
8 / 2	石川県石川農林総合事務所	関係機関の支援のあり方	4
8 / 2 4	京都府八木町山室生産組合	先進地視察	7
9 / 1	近畿農政局	現地視察	2 8
9 / 2 4	甲賀地域振興局	環境保全型農業の事例視察	3
1 0 / 2 3	草津市追分生産組合	先進地視察	3 0
1 0 / 2 5	鳥取県大倉土地改良区	先進地視察	2 4
1 0 / 2 8	安濃町農業委員会	先進地視察	2 2
1 1 / 1	(社)農山漁村文化協会(社)全農映	季刊誌「21世紀の日本を考える」取材	2
1 1 / 5	富山県大門町営農組合連絡協議会	先進地視察	5 0

月 日	来 視 先	内 容	人 数
1 1 / 9	岡崎市地場野菜需給安定対策協議会	先進地視察	4 0
1 1 / 1 0	びわ湖放送	J A 特別番組取材	-
1 1 / 1 2	農政ジャーナリストの会	共同取材	1 3
1 1 / 1 6	鳥取県岩美町大谷生産組合	先進地視察	2 0
1 1 / 1 7	小牧市農業委員会	先進地視察	2 8
1 1 / 2 0	島根県横田町農事組合法人三森原	先進地視察	1 1
1 1 / 2 4	岡山県東備地区農業委員会協議会	先進地視察	2 0
1 1 / 2 6	福井県坂井地区農業リーダー	先進地視察	2 6
1 1 / 2 9	岐阜県ほ場整備構造政策研究会	先進地視察	2 7
1 1 / 3 0	石川県かくほ市瀬戸町営農組合	先進地視察	1 3
1 2 / 1	宮崎県北諸県農業改良普及センター	先進地視察	5
1 2 / 3	岐阜県養老町烏江営農組合	先進地視察	1 3
1 2 / 4	近江八幡市竜王町集落営農推進協議会	先進地視察	8 0
1 2 / 7	京都大学農学研究科	調査研究	3 0
1 2 / 9	野洲市安治集落農業組合	先進地視察	2 6
12/10~12	( 社 ) 農山漁村文化協会 ( 社 ) 全農映	ビデオ制作取材	-
合計	4 6 先 ( 前年度比 + 2 4 先 )	9 1 8 人 ( 前年度比 + 5 1 0 人 )	

【平成 1 6 年度受講研修】

月 日	研 修	出 席 者	内 容
1 / 1 5	米政策改革近畿ブロック説明会	福西	農水省生産調整方針説明
1 / 1 6	米政策改革に係る地域意見交換会	福西 ( 発表 )	集落営農事例紹介
1 / 2 3	農林公庫近畿地区農業経営者交流	福西	経営研究
1 / 2 4	野洲町集落営農円卓会議通常総会	福西 ( 発表 )	記念講演
1 / 2 5	水口地区集落営農取組代表者研修	谷口, 東浦, 福西	米政策大綱農業ビジョン
1 / 2 6	岐阜県農業農村活性化協会検討会	福西 ( 発表 )	講師として事例報告
1 / 2 8	露地野菜部会栽培研修会	伴昌信、金松	ブロックリー栽培管理
1 / 2 9	牛飼農事改良組合研修会	福西 ( 発表 )	集落営農立ち上げ
1 / 3 0	水口地区農業関連組織合同研修会	林稔雄、金松	1 6 年水田農業ビジョン
1 / 3 1	甲賀地域農業集落代表者のつどい	谷口, 小林, 東浦, 福西	米政策改革、良質米生産



月 日	研 修	出 席 者	内 容
2 / 3	経営構造対策研究会議	福西（発表）	集落営農事例紹介
2 / 5	J A 花野果倶楽部先進地研修会	林稔雄,奥村昌美 谷口朝子,山崎智恵子	福井市直売所 「喜ね舎愛菜館」
2 / 5	水口町認定農業者研修会	谷口,福西(発表)	認定農業者制度の活用
2 / 18	J A 京都営農農政総合セミナー	福西（発表）	講師として事例報告
2 / 27	集落営農研修会		糠塚町生産組合事例
3 / 4	甲賀地域集落営農リーダー先進地研修	福西、西村清	あぐりタウンげんきの郷
3 / 9	大規模稲作経営者部会総会	東浦	環境こだわり農産物認証
3 / 17	水口町良質米研究会総会	西村清	活動報告と計画
3 / 18	環境こだわり水稲生産者研修会	谷口、東浦	水稲栽培の技術要件
3 / 19	佐賀県普通作技術者連絡協議会	福西（発表）	講師として事例報告
3 / 27	山口市山口中央地域担い手育成研修会	福西（発表）	講師として事例報告
6 / 20	集落営農型農業法人検討会	福西（発表）	
7 / 2	小菊栽培先進地視察研修会	林稔雄ほか8名	愛知県下山村生産組合
7 / 12	J A 滋賀担い手育成支援担当者研修会	福西（発表）	講師として事例報告
8 / 4	農業法人協会滋賀支部総会	谷口	
8 / 6	大規模稲作経営者部会	東浦	
8 / 6	小倉武一記念協同農業研究会	福西（発表）	講師として事例報告
8 / 7	湖東地域農業者大会	福西（発表）	講師として事例報告
8 / 25	水口町良質米研究会視察研修	伴	竜王町稲作経営者研究会
8 / 27	滋賀県農政連日野支部総会	福西（発表）	講師として事例報告
9 / 1	米政策改革推進現地意見交換会	谷口、福西、伴	事例意見発表
9 / 10	信楽町宮町農業組合	福西（発表）	講師として事例報告
9 / 24	環境調和型農業研修	西村清、林信、小林茂	現地視察
10 / 19	花野果市研修会	すこやかGなごやかG 4名	
10 / 21	秋冬野菜出荷会議	すこやかG 3名	
10 / 22	地域農林経済学会特別シンポジウム	福西（発表）	講師として事例報告
11 / 12	甲良町北落集落営農研究会	福西（発表）	講師として事例報告
11 / 15	石川県中能登集落営農リーダー養成研修会	福西（発表）	講師として事例報告
11 / 27	彦根市農業問題講演会	福西（発表）	講師として事例報告
12 / 14	土山町集落営農研修会	福西（発表）	講師として事例報告

## 貸借対照表

農事組合法人酒人ふぁーむ

2004年12月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	45,950,620	【流動負債】	13,813,479
現金・預金	20,394,248	未払金	13,319,149
売掛金	8,890,865	預り金	7,230
棚卸品	1,275,310	仮受金	417,100
未収金	8,768,287	未払法人税等	70,000
立替金	52,180	【固定負債】	89,963,181
仮払金	6,569,730	長期借入金	85,518,386
【固定資産】	81,432,251	農用地利用集積準備金	4,444,795
【有形固定資産】	81,382,251	負債の部合計	103,776,660
建物	42,943,294	資本の部	
構築物	1,585,500	【資本金】	4,480,000
機械装置	15,338,540	出資金	4,480,000
農機具	30,884,005	【利益剰余金】	19,126,211
工具器具備品	672,000	利益準備金	1,608,977
減価償却累計額	10,041,088	当期末処分剰余金	17,517,234
【投資等】	50,000	(うち当期剰余金)	17,517,234
外部出資金	50,000	資本の部合計	23,606,211
資産の部合計	127,382,871	負債・資本合計	127,382,871

(注)

消費税の経理処理方式

税込処理

有形固定資産の減価償却累計額

10,041,088円

# 損益計算書

農事組合法人酒人ふぁーむ

自 2004年 1月 1日 至 2004年12月31日

(単位:円)

経常損益の部			
【事業損益の部】			
【事業収益】			
【販売高】			
販 売 高	55,882,187		
奨 励 助 成 金	14,395,212		
販 売 高 合 計			70,277,399
【事業費用】			
【生産原価】			
当 期 農 産 物 原 価	46,178,660		
合 計	46,178,660		
事 業 原 価			46,178,660
事 業 総 利 益			24,098,739
【事業管理費】			
事 業 管 理 費 合 計			6,770,454
事 業 利 益			17,328,285
【事業外損益の部】			
【事業外収益】			
受 取 利 息	312		
受 取 配 当 金	500		
雑 収 入	1,483,754		
事 業 外 収 益 合 計			1,484,566
【事業外費用】			
支 払 利 息	767,917		
雑 損 失	9,000		
事 業 外 費 用 合 計			776,917
経 常 利 益			18,035,934
税 引 前 当 期 純 利 益			18,035,934
法 人 税 等			518,700
当 期 剰 余 金			17,517,234
当 期 未 処 分 剰 余 金			17,517,234

# 事業費用内訳書

農事組合法人酒人ふぁーむ

自 2004年 1月 1日 至 2004年12月31日

(単位:円)

<b>【事業費用】</b>		
<b>【資材費】</b>		
種 苗 費	5,027,432	
肥 料 費	6,222,731	
農 薬 費	1,581,163	
諸 材 料 費	222,914	
合 計	13,054,240	
生 産 資 材 費 合 計		13,054,240
<b>【労務費】</b>		
農 業 労 災 費	407,447	
労 務 費 合 計		407,447
<b>【その他生産費】</b>		
農 具 費	1,386,473	
作 業 委 託 料	2,444,775	
土 地 改 良 水 利 費	2,812,860	
動 力 光 熱 費	1,459,405	
修 繕 費	3,397,910	
荷 造 運 賃 発 送 費	2,688,394	
機 械 賃 借 料	1,161,000	
機 械 リ - ス 料	1,904,476	
年 貢 料 ( 借 地 料 )	5,868,228	
生 産 調 整 拠 出 金	1,856,774	
農 業 共 済 費	1,099,024	
雑 費	677,584	
減 価 償 却 費	5,960,070	
そ の 他 生 産 費 合 計		32,716,973
当 期 生 産 原 価		46,178,660
合 計		46,178,660
当 期 農 産 物 原 価		46,178,660

## 事業管理費内訳書

農事組合法人酒人ふぁーむ

自 2004年 1月 1日 至 2004年12月31日

(単位:円)

福 利 厚 生 費	254,446
教 育 ・ 研 修 費	28,000
旅 費 交 通 費	12,400
通 信 費	78,699
交 際 費	70,000
諸 会 費	277,000
水 道 光 熱 費	20,198
賃 借 料	50,000
事 務 用 消 耗 品 費	284,978
租 税 公 課	1,502,658
雑 費	316,209
税 務 顧 問 料	467,250
集 積 準 備 金 繰 入	3,408,616
事 業 管 理 費 合 計	6,770,454

## 剰余金処分案

(単位:円)

当期未処分剰余金の処分		
当期未処分剰余金		17,517,234
剰余金処分数額		
利益準備金	1,751,723	
従事分量配当金	15,765,511	
処分数額計		17,552,783
次期繰越剰余金		0



附属明細書

平成16年度予算実績対比表

自2004年1月1日～至2004年12月31日

(単位千円)

勘定科目	平成16年度予算額		実績額		差異金額	
	金額	金額/反	金額	金額/反	金額	金額/反
[耕作面積]	換算385.0反		換算373.7反			
[事業収益]						
[販売高]						
販売高	51,438	134	55,882	145	4,444	12
奨励・助成金	14,621	38	14,395	37	-226	-1
販売高合計	66,059	172	70,277	183	4,218	11
[事業費用]						
[資材費]						
[生]種苗費	5,400	14	5,027	13	-373	-1
[生]肥料費	6,300	16	6,223	16	-77	0
[生]農薬費	2,050	5	1,580	4	-470	-1
[生]諸材料費	530	1	223	1	-307	-1
生産資材費合計	14,280	37	13,053	34	-1,227	-3
[労務費]						
[生]労務費(従事分量配当)	14,329	37	15,766	41	1,437	4
[生]農業労災費	400	1	407	1	7	0
労務費合計	14,729	38	16,173	42	1,444	4
[その他生産費]						
[生]動力光熱費	1,000	3	1,459	4	459	1
[生]農具費	1,500	4	1,387	4	-113	0
[生]修繕費	3,000	8	3,397	9	397	1
[生]機械賃借料	200	1	1,161	3	961	2
[生]年貢料(借地料)	5,640	15	5,869	15	229	1
[生]作業委託料	3,880	10	2,445	6	-1,435	-4
[生]土地改良水利費	2,810	7	2,813	7	3	0
[生]農業共済費	960	2	1,099	3	139	0
[生]生調拠出金	1,640	4	1,857	5	217	1
[生]機械リース料	1,950	5	1,905	5	-45	0
[生]荷造運賃発送料	2,250	6	2,688	7	438	1
[生]雑費	240	1	678	2	438	1
[生]減価償却費	5,890	15	5,960	15	70	0
その他生産費合計	30,960	80	32,718	85	1,758	5
事業費用合計	59,969	156	61,944	161	1,975	5
[事業総利益]	6,090	16	8,333	22	2,243	6
[事業管理費]						
[管]福利厚生費	150	0	254	1	104	0
[管]旅費交通費	50	0	12	0	-38	0
[管]通信費	100	0	79	0	-21	0
[管]交際費	100	0	70	0	-30	0
[管]支払手数料	10	0	0	0	-10	0
[管]諸会費	100	0	277	1	177	0
[管]水道光熱費	30	0	20	0	-10	0
[管]賃借料	40	0	50	0	10	0
[管]教育・研修費	100	0	28	0	-72	0
[管]事務用消耗品費	550	1	285	1	-265	-1
[管]修繕費	50	0	0	0	-50	0
[管]租税公課	300	1	1,503	4	1,203	3
[管]雑費	420	1	316	1	-104	0
[管]税務顧問料	500	1	467	1	-33	0
[管]農用地利用集積準備金	2,000	5	3,409	9	1,409	4
事業管理費合計	4,500	12	6,770	18	2,270	6
[事業利益]	1,590	4	1,563	4	-27	0
[事業外損益]	500		707	2	207	2
[経常利益]	2,090	5	2,270	6	180	0

(注)従事分量配当金は労務費として計算しています。

平成16年度事業実績明細表

自 2004年1月1日 ~ 至 2004年12月31日

単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜		ハウス野菜		育苗	共通	合計
[耕作面積換算]	202.0反		186.1反		143.9反		24.4反		3.4反				382.7反
[事業収益]													
販売高	30,783	152	6,100	33	8,419	59	6,775	278	3,604	1,060	2,480	-2,279	55,882
奨励助成金	2,929	14	6,308	34	3,758	26	905	37	24	7	471	0	14,395
販売高合計	33,712	167	12,408	67	12,177	85	7,680	315	3,628	1,067	2,951	-2,279	70,277
事業費用													
[資材費]													
[生]種苗費	2,785	14	479	3	365	3	1,721	71	141	41	1,795	-2,259	5,027
[生]肥料費	2,787	14	1,863	10	626	4	649	27	298	88	0	0	6,223
[生]農薬費	717	4	221	1	485	3	251	10	11	3	0	-105	1,580
[生]諸材料費	223	1	0		0		0		0		0	0	223
資材費合計	6,512	32	2,563	14	1,476	10	2,621	107	450	132	1,795	-2,364	13,053
[労務費]													
[生]労務費	4,804	24	1,302	7	1,237	9	2,888	118	2,828	832	0	2,706	15,766
[生]農業労災費	0										0	407	407
[生]共通労務費	1,401	7	623	3	623	4	311	13	156	46	0	-3,114	0
労務費合計	6,206	31	1,925	10	1,860	13	3,199	131	2,983	877	0	0	16,173
[その他生産費]													
[生]動力光熱費	652	3	290	2	290	2	145	6	72	21	0	10	1,459
[生]農具費	517	3	396	2	401	3	48	2	24	7	0	0	1,387
[生]修繕費	1,529	8	679	4	679	5	340	14	170	50	0	0	3,397
[生]機械賃借料	27		12		12		807	33	303	89	0	0	1,161
[生]年貢料(借地料)	3,002	15	1,373	7	1,373	10	41	2	79	23	0	0	5,869
[生]作業委託料	0		1,297	7	1,148	8	0		0		0	0	2,445
[生]土地改良水利費	1,350	7	753	4	583	4	99	4	28	8	0	0	2,813
[生]農業共済費	391	2	443	2	151	1	0		114	34	0	0	1,099
[生]生調拠出金	1,603	8	102	1	151	1	0		0		0	0	1,856
[生]機械リース料	863	4	0		0		0		0		1,042	0	1,905
[生]荷造運賃発送費	375	2	0		95	1	1,489	61	730	215	0	0	2,688
[生]減価償却費	2,657	13	1,181	6	1,181	8	591	24	295	87	0	55	5,960
[生]雑費	678	3	0		0		0		0		0	0	678
その他生産費合計	13,643	68	6,527	35	6,064	42	3,559	146	1,816	534	1,042	66	32,718
事業費用合計	26,361	130	11,015	59	9,400	65	9,379	384	5,249	1,544	2,837	-2,298	61,944
事業総利益	7,351	36	1,392	7	2,777	19	-1,699	-70	-1,621	-477	114	20	8,333
[事業管理費]	3,670	18	1,102	6	1,494	10	336	14	168	49	0	0	6,770
事業利益	3,681	18	291	2	1,283	9	-2,036	-83	-1,789	-526	114	20	1,563
[事業外損益]	319	2	142	1	142	1	71	3	35	10	0	0	707
経常利益	4,000	20	432	2	1,424	10	-1,965	-81	-1,754	-516	114	20	2,270

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。 共通部門は、共通費処理、内部売上高控除及びコイン精米機売上による損益を含んでいます。

(注) 集積準備金繰入額は、事業管理費の中で黒字部門の事業総利益比率で按分しています。

# 監 査 報 告 書

平成 17 年 2 月 20 日

農事組合法人酒人ふぁ～む  
代表理事 谷口 榮治 様

監 事 林 勝久

監 事 山崎 征夫

私たち監事は、平成 16 年 1 月 1 日から平成 16 年 12 月 31 日までの第 3 期事業年度の理事の職務の遂行、事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに附属明細書について監査しました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、組合の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 剰余金処分案は、法令及び定款に適合しており、組合財産の状況及びその他の事情に照らし、指摘すべき事項は認められません。
- (4) 附属明細書については、特に指摘すべき事項は認められません。
- (5) 理事の職務遂行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

以上

# 第三次 3 ヶ年事業計画書

平成 17 年度～平成 19 年度

## 〔基本テーマ〕

第一次 3 ヶ年（11 年～13 年）

「夢・創意・挑戦」 時代にマッチした農業経営

第二次 3 ヶ年（14 年～16 年）

「決断」と「実行」 「づくり」の時期

第三次 3 ヶ年（17 年～19 年）

「自立」と「自律」 夢（ビジョン）の具現化

## 〔理念〕

1. 人づくり
2. 組織づくり
3. 産地づくり
4. 地域づくり

## 〔基本方針〕

1. 「儲かる」から「儲ける」へ
2. 「売れる」から「売る」へ
3. 「できる」から「作る」へ
4. 「参加」から「参画」へ
5. 「集落」から「地域」へ

当地の視察が殺到しているのはなぜか。量から質への米政策の大転換で、各集落ともこれからの方向性を探るべく必死だからである。さて我が組合も安穩とはしているわけにはいかない。今は集落営農の 1 つのモデルとして注目されるだけにすぎず、新たなビジネスモデルに向け、必死に知恵をしばらなければ逆に取り残されてしまう。この 3 ヶ年が組合の将来を左右する大変重要な時期であることは言うまでもない。「何をしてきた」ではなく「何をするのか」が大事であると考え。ハードが完成した今、これからの真の実践 3 ヶ年となる。

これまでは、関係機関のお力添えで進めば良かったが、これからは自らが考え、自らの力で進める強固な組織でなければならない。そのためには、生産方法と販売方法を根本的に見直し、自らが「作り」自らが「売る」という基本的な仕組みづくりの確立が急務となる。

変化をチャンスと捉え、リスクに対しても果敢に挑戦し、集落営農基盤を確固たるものにし、後世に夢が継承できるよう業務に邁進する。

## 第三次3ヵ年部門別事業計画

### 営 農 部

#### 【重点方針】

- 1．儲ける農業の実践（営業力＝生産力）
- 2．品質・環境にこだわった農業の展開
- 3．試験的二毛作への取り組み
- 4．IT活用によるユーザー拡大
- 5．農産物加工事業へ挑戦

#### 【事業計画】

- 1．ブランド米の販路検討  
 JA特裁米生産への取り組み  
 全組合員が営業マン～縁故米の普及活動  
 酒人ブランドのデザイン・規格検討
- 2．環境こだわり米へのこだわり  
 耕畜連携で環境にやさしい土壌づくり。
- 3．遅植水稻の作付拡大  
 麦後の水稻作付面積拡大179a(16年) 360a(17年)で、  
 圃場の有効活用と労務の分散化をはかる。
- 4．ネット販売システムの実践  
 ホームページのリニューアルで受注から発送までの一貫システム体制構築。
- 5．「米粉パン工房」の立ち上げ検討  
 直売所に併設し、焼きたてブランドで「酒人米」のPR。さらに、米粉パンを学校給食へ、「地産地消」と「食育」で地域の活性化と元気な後継者育成。

#### 【生産計画】

	17年度	18年度	19年度
水 稲	24、1ha	24、5ha	24、5ha
	2、169俵	2、205俵	2、205俵
麦	15、2ha	15、5ha	15、5ha
	912俵	930俵	930俵
大 豆	10、4ha	10、0ha	10、0ha
	364俵	350俵	350俵

## 企画開発部

### 【重点方針】

1. 「酒人の旬」ブランドの策定（企画広報）
2. 販路確保と販売力強化（特産振興）
3. 直売所運営計画の起立（特産振興）
4. 広域営農システムの検討開始（企画広報）

### 【事業計画】

1. 特産品の選定と新しい農産物に挑戦
  - 17年～花卉（ストック、小菊）メロンの栽培、ブルーベリーの検討
  - 18年～ハーブ類の取り組み検討
  - 19年～ブルーベリー栽培開始
  
2. 販売チャネルの拡大と販売力の強化
  - 「花野果市」への出荷拡大＝多品種少量生産体制確立
  - ネット販売＝営農部、総務部と連携し、システムを構築
  - ホームページのリニューアル＝こまめな商品情報・収穫情報の提供
  - 直売所“旬の里（仮称）”の設置検討＝機械施設部と連携
  - 組合員や集落の人縁地縁の活用～組合員の販売・宣伝活動強化
  - マーケット動向を的確にサーチし、生産部門に情報提供
  
3. 集落営農から地域営農へ＝「アグリネットワーク」の準備・助走

	農事組合法人酒人ふぁ～む	広域営農システム
17 年度	ネット販売の本格稼働 花卉・メロン栽培挑戦 直売所設置計画起立＝補助事業のサーチ ブルーベリー栽培の検討	大規模農家との機械連携 「稲わら梱包機利用組合」発足 農機リース事業の足掛り 柏木地区農業経営研究会発足 〔集落営農、大規模農家、 個別農家、行政、JA〕 作業受託の検討
18 年度	直売所建設の準備＝ソフト事業への取組 白菜の有効利用 塩漬け処理で付加価値アップ	
19 年度	直売所「旬の里（仮称）」オープン 加工食品の販売開始「米粉パン工房」 都市農村交流事業・観光農園開園 ・ブルーベリー園の始動 ・ハーブ栽培への取り組み	
20 年度	学校給食への食材提供	アグリネットワーク始走



### 露地野菜

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
29-1 76a	白菜 →	(麦) 1/2 →	38a →			かぼちゃ 1/2 →	38a →			ブロッコリ 1/2 →	38a →		
				キャベツ 1/2 →	38a →				ブロッコリ 1/2 →	38a →			
31-1 69a	ブロッコリ →		白菜 1/2 →	34a →				白菜 69a →			(麦) 69a →		
				白菜 1/2 →	35a →								
31-2 84a		(麦) 84a →			かぼちゃ 84a →				白菜 84a →				
占門320-1 5a		(麦) 5a →						黒大豆 5a →					
鉄塔の下 7.5a					かぼちゃ 7.5a →							たまねぎ 7.5a →	
憩いの広場東 6a				露地メロン 6a →					ブロッコリ 6a →				
西村清秋宅西 2a	ジャンボ ニンニク →	2a →						黒大豆 2a →					
西基地西側 30-3 畑 3a					さつまいも 3a →				ジャンボ ニンニク →	3a →			
西基地北側 畑					小菊 3a →				たまねぎ 3a →				

### ハウス野菜

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
ハウスNo.1 4.88a	サニー レタス →	→	土つくり →			こまつな ほうれん草 →		トマト →					サニー レタス →
ハウスNo.2 4.28a			こまつな ほうれん草 →	土つくり →	水稲節育苗 →		こまつな ほうれん草 →		こまつな 水菜 →		サニー レタス →		
ハウスNo.3 3.75a	サニー レタス →	土つくり →		水稲節育苗 →		こまつな ほうれん草 →			こまつな 水菜 →		サニー レタス →		
ハウスNo.4 3.15a	サニー レタス →	こまつな →	土つくり →	水稲節育苗 →		こまつな →				こまつな ほうれん草 →			サニー レタス →
ハウスNo.5 2.17a	こまつな 水菜 →		水菜 →			ハウス メロン →			ハウス メロン →				
ハウスNo.6 1.12a	ストック →			メロン節 ほうれん草 →					ストック →			菊節 →	

### 主要品目別販売計画

単位千円

品目	面積	販売高	品目	面積	販売高
白 菜	222a	6,660	小 松 菜	ハウス6棟 周年出荷 19.35a	345
か ぼ ち ゃ	129a	2,580	ハウレンソウ		370
ブロッコリー	82a	2,460	サニーレタス		600
キャベツ	38a	910	ハウスメロン		480
			水 菜		280
			ト マ ト		560
小 計		12,610	小 計		2,635
販売高合計		15,245,000円			

## 機械施設部

### 【重点方針】

1. 直売所・加工所の設置
2. 周辺環境対策への配慮
3. オペレーターの養成で作業受託への対応準備

### 【事業計画】

1. 売る拠点としての直売所づくりに着手
2. 乾燥調整施設の防塵方策の研究、検討
3. 洗機場の設置 = 機械格納前の洗機励行で愛機への思いやり
4. 農業機械の操作技能指導でオペレーターのレベルアップ
5. 乾燥調整技能の習熟  
歩留り率の向上とブランド米生産
6. 機械施設の整備能力の向上 = 機械に強い人材育成
7. 精米所の利用 P R で事業としての底固め

### 【投資計画】

（単位：千円）

年度	投資予定資産	取得費	予定補助金	負担金
17	洗機場	1,300		1,300
	ライスセンター防塵補強	500		500
	ハイクリトラクター	2,370	1,185	1,185
	ネット販売ソフト	650		650
	小計	4,820	1,185	3,635
18	上水道工事	600		600
	同 加入金	85		85
	小計	685		685
19	直売所「旬の里」 (パン工房を含む)	20,000	10,000	10,000
	小計	20,000	10,000	10,000
	合計	25,505	11,185	14,320

ハイクリトラクターは、野菜（ブロッコリー・白菜等）栽培・大豆中耕の専用管理機で、補助事業にての導入を検討

## 総 務 部

### 【重点方針】

1. 自立型農業法人の確立
2. 更なる組織の体制強化
3. 財務の健全化 = 原価意識の徹底
4. 新しいアグリビジネスの創造

### 【事業計画】

1. どこへ売るか（販売チャネル）・どう売るか（プロモーション）の検討
2. 将来に託す組織基盤整備

将来ビジョン策定提言できる各部横断型組織づくり（副部長組織）

収穫状況、販売状況、作業進捗状況の全面開示システムの構築

「全員参加」から「全員参画」へ意識の改革

構成員による経営提言と制度づくり

3. 作業環境の向上

出荷状況と市況の情報キャッチで販売連動型作業体制を目指す

安全保障対策～農業労災の加入者と作業の対象を全面拡大

4. 儲ける農業にむけて

原価（コスト）意識の徹底で効率作業と効率出荷

内部留保の蓄積

（単位：千円）

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
販売高	62,440	70,277	72,264	74,000	76,000
事業総利益	19,905	24,099	24,568	26,150	25,600
減価償却費	4,081	5,960	6,052	6,500	6,500
集積準備金	1,036	3,409	2,000	2,000	2,000
利益準備金	1,609	1,752	1,605	1,757	1,697
内部留保	6,726	11,121	9,657	10,257	10,197
内部留保累計	6,726	17,847	27,504	37,761	47,958

## 5. 直売所と観光農園

直売システムの構築と米粉パンの食材研究

観光農園への挑戦 = ブルーベリー園

国庫補助事業「強い農業づくり交付金」(補助1/2)の有効活用  
18年度ソフト事業 19年度ハード事業

## 6. 法人による拠点施設用地の取得

換地完了にともなう事務所格納庫の底地取得

圃場 30 - 1 17a × 150千円 = 2,500千円

農用地利用集積準備金の取崩しを原資とします。



平成17年度事業計画明細表

自 2005/1/1 ~ 至 2005/12/31

単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜		ハウス野菜		育苗	共通	合計
[耕作面積換算]	241.0反		152.0反		104.0反		24.9反		3.4反				373.3反
[事業収益]													
販売高	32,535	135	7,885	52	5,928	57	12,610	506	2,635	775	2,600	-2,600	61,593
その他販売高	150	1		0	0	0		0		0		120	270
奨励助成金	1,671	7	3,450	23	3,450	33	1,114	45	153	45	458	225	10,521
販売高合計	34,356	143	11,335	75	9,378	90	13,724	551	2,788	820	3,058	-2,375	72,264
事業原価													
[資材費]													
[生]種苗費	3,627	15	343	2	109	1	1,675	67		0	2,027	-2,600	5,181
[生]肥料費	3,331	14	1,648	11	475	5	1,462	59	100	29			7,016
[生]農薬費	930	4	290	2	566	5	680	27	30	9			2,496
[生]諸材料費	253	1	159	1	33	0	50	2	100	29			595
資材費合計	8,141	34	2,440	16	1,183	11	3,867	155	230	68	2,027	-2,600	15,288
[労務費]													
[生]労務費	5,310	22	1,359	9	936	9	3,250	131	2,500	735		2,500	15,855
[生]農業労災費		0		0		0		0		0		450	450
[生]共通労務費	1,623	7	443	3	443	4	295	12	148	43	0	-2,950	0
労務費合計	6,933	29	1,802	12	1,379	13	3,545	142	2,648	779	0	0	16,305
[その他経費]		0		0		0		0		0			
[生]動力光熱費	507	2	229	2	218	2	160	6	80	24		13	1,207
[生]農具修繕費	2,500	10	835	5	835	8	557	22	278	82			5,005
[生]機械賃借料		0		0	0	0	250	10	250	74			500
[生]年貢料(借地料)	3,483	14	1,133	7	780	8	420	17	53	16			5,869
[生]作業委託料	0	0	1,683	11	707	7	294	12		0	53		2,737
[生]土地改良水利費	1,641	7	514	3	514	5	196	8	12	4			2,877
[生]農業共済費	450	2	500	3	135	1		0	54	16	23		1,162
[生]生調拠出金	1,666	7	0	0	162	2		0		0			1,828
[生]機械リース料	1,136	5		0		0		0		0	1,080		2,216
[生]荷造運賃発送費		0		0		0	1,950	78	300	88			2,250
[生]減価償却費	3,254	14	889	6	889	9	592	24	296	87		132	6,052
[生]雑費	121	1	79	1	55	1		0		0			255
その他経費合計	14,758	61	5,862	39	4,295	41	4,419	177	1,323	389	1,156	145	31,958
事業費用合計	29,832	124	10,104	66	6,857	66	11,831	475	4,201	1,235	3,183	-2,455	63,551
事業総利益	4,525	19	1,232	8	2,522	24	1,893	76	-1,413	-415	-125	80	8,713
[事業管理費]	4,400	18	1,200	8	1,200	12	800	32	400	118	0	0	8,000
事業利益	125	1	32	0	1,322	13	1,093	44	-1,813	-533	-125	80	713
[事業外損益]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常利益	125	1	32	0	1,322	13	1,093	44	-1,813	-533	-125	80	713

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。 共通部門は、共通費処理、内部売上高控除及びコイン精米機売上による損益を含んでいます。

財務計画・損益計画(平成17年～平成19年)

単位:千円

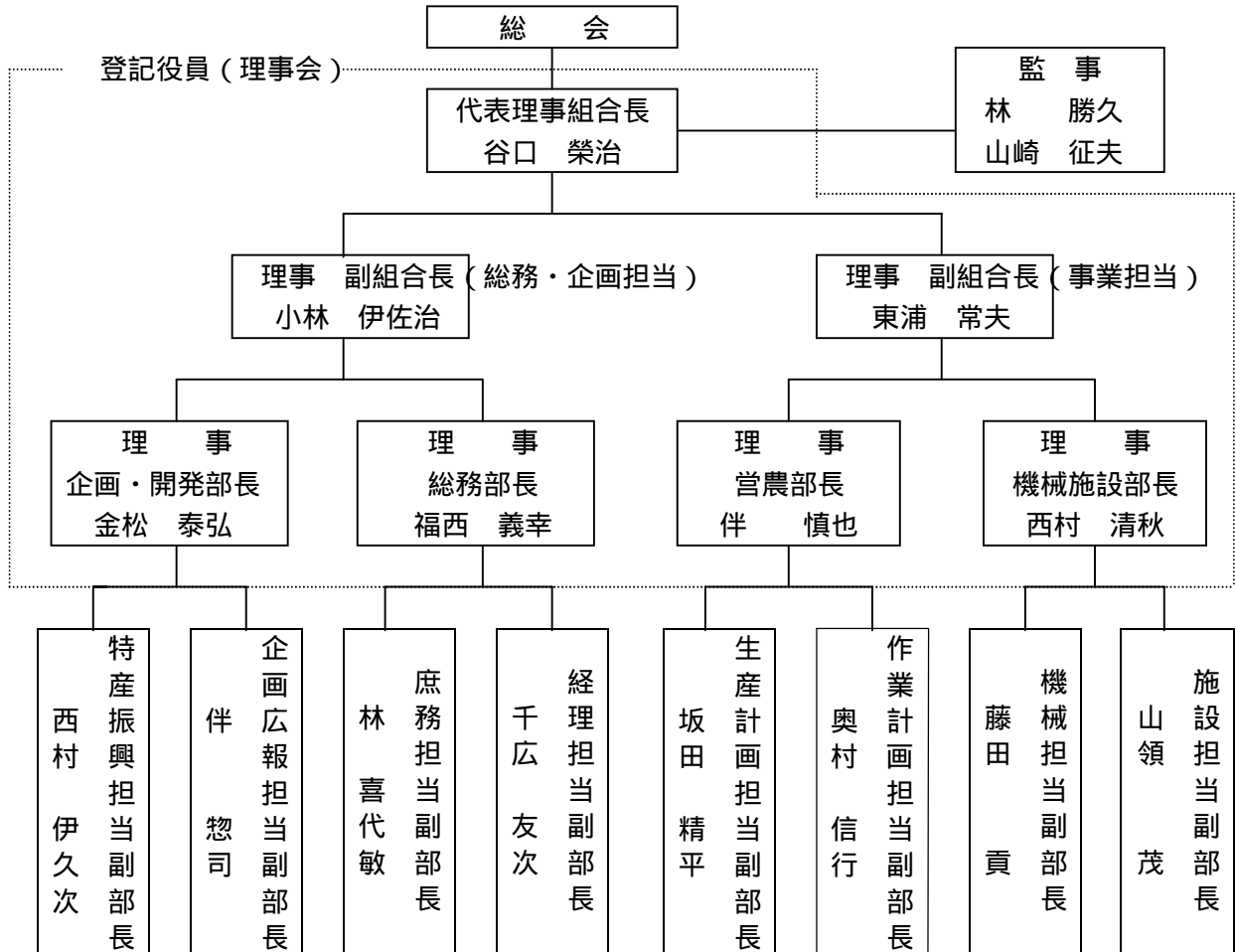
科 目		平成16年度残高	平成17年度残高	平成18年度残高	平成19年度残高
貸	流動資産	45,950	33,882	27,244	22,866
	現金預金	20,394	15,986	17,203	19,915
	その他	25,556	17,896	10,041	2,951
借	固定資産	81,382	79,610	73,110	76,518
	外部出資	50	50	50	50
対	資産の部計	127,382	113,542	100,404	99,434
	流動負債	13,813	10,133	3,133	8,133
	固定負債	89,963	79,520	71,577	63,634
照	集積準備金	4,445	3,945	5,945	7,945
	長期借入金	85,518	75,575	65,632	55,689
表	資本の部	23,606	23,889	25,694	27,667
	出資金	4,480	4,480	4,480	4,480
	利益剰余金	19,126	19,409	21,214	23,187
	利益準備金	1,609	3,361	5,113	6,865
	当期剰余金	17,517	16,048	16,101	16,322
	前期繰越剰余金	0	0	0	0
	負債・資本計	127,382	113,542	100,404	99,434

科 目		平成16年度残高	平成17年度残高	平成18年度残高	平成19年度残高
耕作面積			382.7反 @/反	382.7反 @/反	382.7反 @/反
損	事業収益				
	販売高		72,264 189	74,000 193	76,000 199
	事業費用				
	生産資材費		15,288 40	15,000 39	16,000 42
	労務費		450 1	450 1	400 1
	その他生産費		31,958 84	32,400 85	34,000 89
	(減価償却費)		6,052 16	6,500 17	6,500 17
	事業費用合計		47,696 125	47,850 125	50,400 132
	< 事業総利益 >		24,568 64	26,150 68	25,600 67
	計	事業管理費			
共通管理費			8,000 21	8,100 21	8,100 21
(農用地集積準備金繰入)			2,000 5	2,000 5	2,000 5
< 事業利益 >			16,568 43	18,050 47	17,500 46
事業外損益					
算	営業外収益		0 0	0 0	0 0
	営業外費用		0 0	0 0	0 0
	< 経常利益 >		16,568 43	18,050 47	17,500 46
	法人税等		520 1	480 1	527 1
書	< 当期剰余金 >		16,048 42	17,570 46	16,973 44
	従事分量配当		15,855 41	15,100 39	15,000 39
経	米 麦 類 事業				
	米		202.0反 241.0反	245.0反	245.0反
	麦		186.1反 152.0反	155.0反	155.0反
	大豆		143.9反 104.0反	100.0反	100.0反
	野菜その他事業				
	野菜		24.4反 24.9反	24.9反	24.9反
面	ハウス事業		3.4反 3.4反	3.4反	3.4反
	積 < 総経営面積換算 >		382.7反 373.3反	373.3反	373.3反



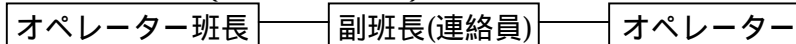
# 農事組合法人酒人ふぁ～む組織図

平成17年2月27日現在



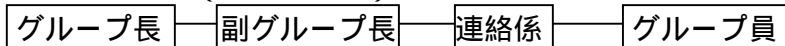
## 酒人ふぁ～む協力組織

### オペレーターグループ (ふぁ～む直轄)



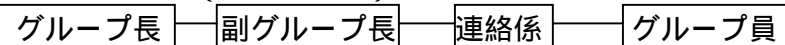
酒人区内に居住し、集落営農の趣旨に賛同し、オペレーターとして出役が可能で営農意欲のある20歳以上55歳以下の男子(登録制)

### なごやか営農グループ (組合員組織)



酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務(作業)に出役頂ける56歳以上65歳未満の男子及び20歳以上65歳未満の女子

### すこやか営農グループ (組合員組織) ~ 酒人老人会のメンバー



シルバー世代の酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務(作業)の一部を担当頂くグループ

### やすらぎ営農グループ (ボランティア) ~ 酒人敬老会の大関・横綱グループ

困炉裏端会議のメンバーで、雑草取りの名人

## 農事組合法人酒人ふぁ～む組合員名簿

平成17年2月27日現在

	垣戸	コード	組合員名		垣戸	コード	組合員名
1	上 (10)	101	奥田 豊	31	中 (5)	401	山領 茂
2		102	小林 幸男	32		402	山田 良康
3		103	伴 慎也	33		404	山田 亨
4		104	奥田 明	34		408	林 稔雄
5		105	奥村 信行	35		409	山中 幸一
6		106	小林 伊佐治	36	寺 (6)	501	藤村 薫
7		107	伴 惣司	37		502	増田 九一
8		108	奥邨 昌隆	38		503	東浦 常夫
9		109	吉川 貞	39		505	増田 治郎
10		110	伴 昌信	40		506	東浦 實之祐
11	201	西村 伊久雄	41	507		山中 正博	
12	清水 (8)	202	小林 茂	42	椎名 (9)	601	山崎 愛子
13		203	福西 昭子	43		603	谷口 栄治
14		204	西村 忠一	44		604	山崎 誠
15		205	福西 義幸	45		605	山崎 征夫
16		207	西村 充広	46		607	林 信博
17		208	西村 美鶴	47		608	林 豊樹
18		209	西村 清秋	48		610	井上 喜夫
19		301	林 武男	49		612	井上 武彦
20	302	林 一	50	613		谷口 政郎	
21	奥出 (12)	304	山中 悟	51	北出 (4)	701	北出 義一
22		305	林 芳郎	52		702	坂田 精平
23		306	藤田 治雄	53		703	千廣 友次
24		308	林 達弥	54		706	北出 功
25		309	山中 五郎	55	八 (2)	805	安陵 和男
26		311	山中 丈之	56		809	金松 泰弘
27		313	林 喜代敏				
28		314	林 勝久				
29		315	藤田 利昭				
30		316	藤田 貢				



農事組合法人 酒人ふぁ～む

滋賀県甲賀市水口町酒人30番地1

TEL 0748 - 65 - 4945

FAX 0748 - 65 - 4947

URL <http://www.biwa.ne.jp/~sakoudo>